



ベストセラー著者が全く新しい会計の学習法を伝授

決算書がスラスラわかる『財務3表一体理解法』

簿記を勉強せずに決算書の基本・会計のしくみ・分析の仕方をラクラクマスター

開催
日時

東京 2019年4月24日(水) **大阪** 2019年5月16日(木)
いずれも10:00~17:00



シリーズ累計
70万部の
大ベストセラー!
増補改訂版
『財務3表一体理解法』
を進呈!!

レベルのめやす

初級 中級 上級

対象：決算書をはじめて読む方

損益計算書・貸借対照表・キャッシュフロー計算書を一体にして理解すれば、簿記を勉強しなくても会計の仕組みがわかる — 本セミナーは、ベストセラーとなった講師の著書「財務3表一体理解法」を実際に体験できる実践セミナーです。決算書の基本から財務3表の繋がりまでモデル会社の事業活動を通して理解し、実際の決算書を基に分析をすることで、決算書を読む勘所がたちどころに理解できます。経営者・管理者から若手社員まで、ビジネスの舞台で活躍されているあらゆる部門の方々のご参加をお待ちしております。<講師著書進呈!> (詳しくは裏面をご覧ください)

講師

ボナ・ヴィータ コーポレーション代表取締役

國貞 克則氏



1961年岡山県生まれ。東北大学機械工学科卒業後、神戸製鋼所入社。海外プラント建設事業部、人事部、企画部、海外事業部を経て、1996年米国クレアモント大学ピーター・ドラッカー経営大学院でMBA取得。2001年ボナ・ヴィータ コーポレーションを設立。「社長の右腕業」として、中小企業の経営企画・人事組織・会計財務面をサポートしている。また、大手企業の中間管理職研修（リーダーシップ・会計・戦略論）の講師としても活躍中で、経営者の視点に立った実践的でわかりやすい講義には定評がある。

[主 著]

『財務3表一体理解法』、『財務3表図解分析法』、『財務3表実践活用法』（以上朝日新聞出版）、『書いてマスター!財務3表・実践ドリル』（日本経済新聞出版社）『図解「財務3表のつながり」でわかる会計の基本』、『ストーリーでわかる財務3表超入門』（以上ダイヤモンド社）『究極のドラッカー』（角川書店）『The Trilateral Approach グローバルに働く人の英文会計』（ゴマブックス）他多数。

主催

みずほ総合研究所

TEL ☎0120(737)132

会場

東京 当社セミナールーム

東京都千代田区内幸町1-2-1（新橋駅5分、内幸町駅上）

大阪 北浜フォーラム

大阪市中央区北浜1-8-16（北浜駅上、淀屋橋駅7分）

参加費

★昼食代、テキスト代を含みます。不参加の場合も返戻はいたしません。

ゴールド会員(旧特別会員)

28,080円

(うち消費税 2,080円)

シルバー会員(旧普通会員)

30,240円

(うち消費税 2,240円)

左記会員以外

34,560円

(うち消費税 2,560円)

お申込みはホームページからどうぞ

セミナー最新情報もご覧いただけます

みずほセミナー

検索

<https://www.mizuhosemi.com>



郵便でのお申込みは

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-2-1

みずほ総合研究所 人材育成事業部 (セミナー担当)

FAXでのお申込みは

☎0120(737)219

参加を希望する日に○をおつけ下さい	東京 4/24 19-10445	大阪 5/16 19-20509	「決算書がスラスラわかる『財務3表一体理解法』」参加申込書			
住所	〒			TEL		
会社名	(フリガナ)			FAX		
参加者	所属	役職	(フリガナ) 氏名	東京 大阪	年齢満 才	
	所属	役職	(フリガナ) 氏名	東京 大阪	年齢満 才	
派遣責任者名	所属	役職	氏名			
請求書送付先	所属	役職	氏名			
連絡事項						

※ご記入いただいた個人情報の利用目的、ご参加要領に関しては裏面をご覧ください。 ※同業の方のご参加はご遠慮ください。

(Web用)

講義内容

1 決算書の全体像を理解する — 会計は難しくない！

- (1) そもそも決算書は何のためにあるのか
- (2) 財務3表は会社の何を表している表なのか
- (3) 全ての企業に共通する3つの活動

2 財務3表の構造と経営分析のための基礎的な指標を理解する

- (1) 損益計算書 (P/L) の基本構造
 - ① 損益計算書に表れる「5つの利益」の意味
 - ② 損益計算書の目的は何か
- (2) 貸借対照表 (B/S) の基本構造
 - ① 貸借対照表の右側・左側は何を表しているのか
 - ② 1年基準と正常営業循環基準
 - ③ 貸借対照表を図にしてみよう
- (3) キャッシュフロー計算書 (C/S) の基本構造
 - ① キャッシュフロー計算書は3つに分類されている
 - ② 損益計算書は現金の動きを表さない
 - ③ キャッシュフロー計算書と資金繰り表

3 財務3表一体系理解法 — 財務3表の繋がりを理解すれば決算書のしくみがよく分かる

財務諸表の構造や経営分析の比率だけをいくら勉強しても財務諸表は理解できません。この單元では、以下の取引ごとに財務3表の数字がどう動き、どうつながっているかをオリジナルのドリルを使って確認することで、「目からウロコが落ちる」ように財務諸表のしくみが理解できるようになります。

- (1) 会社を設立する
- (2) 銀行からお金を借りる
- (3) 事務用品を購入する
- (4) 固定資産を取得する
- (5) 商品を仕入れる
- (6) 商品を売り上げる
- (7) 買掛金を支払う
- (8) 売掛金を回収する
- (9) 源泉所得税を差し引いて給料を支払う
- (10) 利息の支払いと借入金の返済
- (11) 旅費交通費を支払う
- (12) 在庫の計上と売上原価の計算
- (13) 減価償却費を計上する
- (14) 税金の計上と支払い

4 資本と利益の蓄積が分かる「貸借対照表『純資産の部』」を理解する

- (1) 資本金、資本剰余金、利益剰余金
- (2) 資本準備金
- (3) 利益準備金と任意積立金
- (4) P/LとB/Sをつなぐ株主資本等変動計算書
- (5) 配当と純資産の部の関係

5 財務3表一体分析法 — 膨大な数字の羅列から一目で会社の状況が見えるようになるしくみ

この單元では、実際に会社の決算書进行分析することによって、その会社のおおよその事業実態 (①お金を稼ぐ能力があるのか、②お金を払ってくれる会社なのか、③効率よくお金を稼いでいるか) を把握します。

- (1) 会社にとって大切な4つの経営指標
- (2) 事業の全体像と株主にとって大切なROE
- (3) 財務レバレッジとは
- (4) ROEを分解してみよう
- (5) B/SとP/Lの数字の大きさを同じ縮尺にしてみると…
- (6) キャッシュフロー計算書から戦略的な立ち位置が見えてくる
- (7) 安全性・安定性の比率は一目でわかる
- (8) 決算書分析の9つのステップを理解しよう
- (9) なぜ自己株式を取得するのか
- (10) 本物の決算書进行分析してみよう — 経営の意思は財務諸表に表れる！
 - ① 時系列で分析・比較してみよう
 - ② 同業他社を分析・比較してみよう

☆本講座は会計の初心者の方でも問題なく理解できます。ただ、今までに一度も会計の勉強をしたことがなく不安に思っておられる方は、講師著書「ストーリーでわかる財務3表超入門」(ダイヤモンド社)を事前に読んでいただければより理解が深まります。

当日は演習がありますので、電卓をお持ち下さい

※プログラムの無断転用はお断りいたします。

内容等に関するお問い合わせ先

TEL 0120(737)132

- ・事前にご質問がございましたら、下欄にご記入ください。当日講師よりお答えいたします。
- ・セミナー終了後のご質問・ご相談には、後日ご回答いたします。

ご参加要領

- ① ホームページから簡単にお申込みができますので、是非ご利用ください。折り返し、電子メールにて参加証と請求書をお送りします。
書面にてお申込みの場合は表面申込書にご記入の上、当研究所あて郵便またはファクシミリでご送付ください。
折り返し、郵送にて参加証と請求書をお送りします。
- ② ご参加費につきましては請求書記載の金額に基づき、セミナーの3営業日前までに下記の口座にお振込みください。
なお領収書の発行は省略させていただきますのでご了承ください。
みずほ銀行 東京営業部 普通預金 No.2035802 ミズホソウゴウケンキョウシヨ (カ)
- ③ 満員等によりお席をご用意できない場合は電話でご連絡申し上げます。
- ④ お取消の場合は開催日の前営業日17時までにお電話にてご連絡ください。参加費は全額ご返金いたします。なお、開催3営業日前までに参加費のお振込みがなかった場合でも、自動的にお取消とはなりません。前営業日17時までにご連絡がなかった場合はお席をご用意している関係上、参加費全額をご負担いただきますのでご注意ください。
- ⑤ 反社会的勢力と判明した場合には、セミナーへの出席をお断りいたします。
- ⑥ セミナー内容の録音・パソコン類のご使用はご遠慮願います。
- ⑦ 駐車場はございませんので、車での越しはご遠慮ください。
- ⑧ 車椅子のご利用等、お体が不自由でお席についてご相談のあるお客さまは、事前にご連絡をお願いいたします。
- ⑨ 諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。

個人情報の利用目的

- ① 商品やサービス等のお申込の受付のため。
- ② 商品やサービス等のお取引における管理のため。
- ③ 商品やサービス等のご提供に必要なご案内・ご連絡・ご請求等を行うため。
- ④ ダイレクトメールの発送等、当社や提携会社等の商品やサービス等に関する各種ご提案・ご案内のため。
- ⑤ その他お客さまのお取引を適切かつ円滑に履行するため。

みずほ総合研究所

セミナーのご案内はホームページでもご覧いただけます。 <https://www.mizuhosemi.com>

